

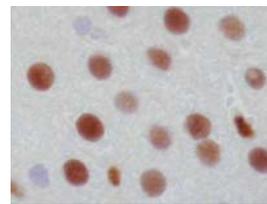
Anti human LXR α Ligand Binding Domain mouse monoclonal antibody

LXR α : Liver X Receptor α

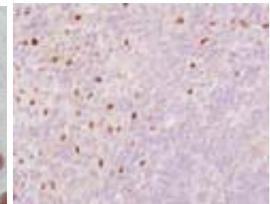
製品コード	PP-PPZ0412-00
Clone No.	PPZ0412
Lot.	A-2
濃度	1mg/mL
容量	100 μ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR1H3
Genbank	U22662
由来	ヒトLXR α (164-447 aa) の大腸菌由来のリコンビナントを免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト LXR α と特異的に反応する。ヒトLXR β には反応しない。マウスおよびラット LXR α と交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN ₃ 添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 1 μ g/mL
非還元 Western Blot	未検討 参考使用濃度 -
ELISA	可 参考使用濃度 0.2 μ g/mL
免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
Supershift Assay	可 参考使用濃度 適宜調製してください
クロマチン免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
免疫染色	可 参考使用濃度 20-40 μ g/mL



ラット
肝臓
パラフィン切片



ラット
脾臓
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Blaschke F, *et al.*, *Circ Res.* 2004; 10;95(12): e110-23.
 Watanabe Y, *et al.*, *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 2005; 25(3):622-7
 Sakamoto A, *et al.*, *J Histochem Cytochem.* 2007; 55(6): 641-9

備考 溶媒に含まれるNaN₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Dec 9, 2009